

野沢温泉小学校保護者の皆様

野沢温泉小学校長 田中和幸

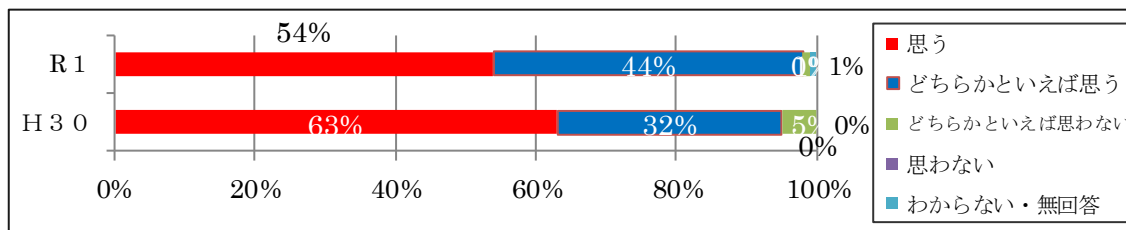
令和元年度 学園・学校評価のまとめについて

早春の候、保護者の皆様におかれましては益々ご健勝のことと拝察申し上げます。また、日頃より学校の教育につきましてご理解ご協力を賜り、誠にありがとうございます。

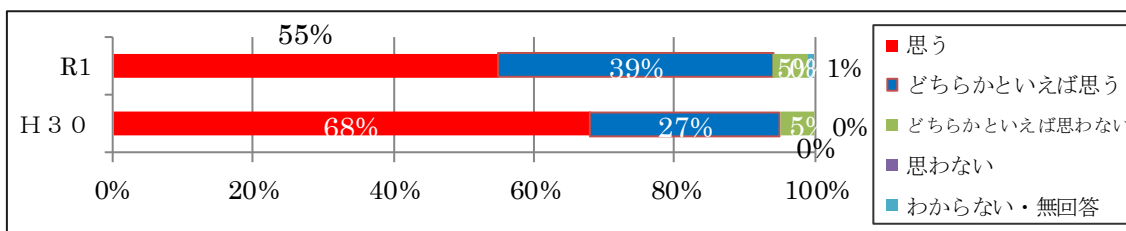
2学期末にご協力いただいた評価アンケートのまとめについて項目ごとに結果と考察をお伝えします。今年度は、アンケートの項目等を検討し修正したため、昨年度の内容の近いものと比較しています。

学園評価アンケート【保護者 129名/140名中】

①「ふるさと学習」で、地域の様々なひと・もの・ことにふれて学ぶことで、子どもたちは、地域のよさを実感していると思いますか。

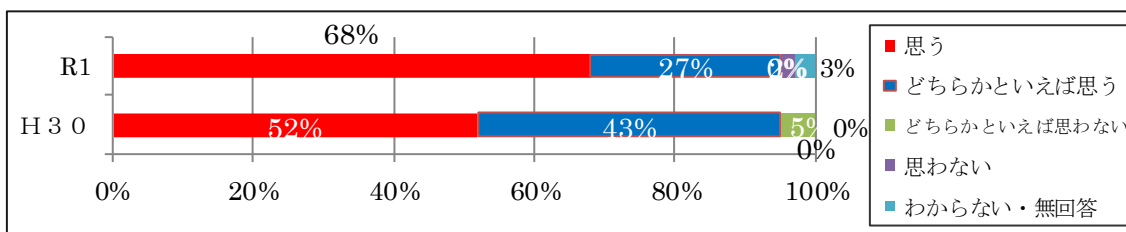


②「英語学習」は、子どもたちにとって、外国の文化や言語に親しみ、コミュニケーションの姿勢を育てる学習になっていると思いますか。



学園として重点的に取り組んでいる「ふるさと学習」(質問①)と「英語学習」(質問②)について、「思う・どちらかといえば思う」の回答が①は98%、②は94%でした。地域の豊富な学習材を使った学習や、地域の特徴を生かした英語学習について高い評価をいただきました。ただ、①、②ともに、昨年度と比較すると「思う」の割合は10%ほど減っていますので、来年度は、毎日英語に触れるイングリッシュタイムで音声でのやり取りの力を向上させたり、全学級で「ふるさと学習」を中核活動として位置づけ、ふるさとを愛する子どもを育てたりしていきます。

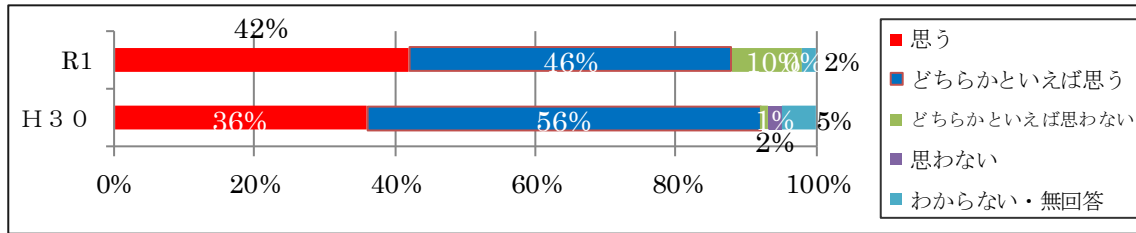
③学校のスキー授業を通して、子どもたちはスキーを楽しむとともに、スキー技能やゲレンデマナーの素地を学んでいると思いますか。



村の根幹を支える産業であるスキーに対する期待と、学校で行っているスキー学習への評価の高さがうかがえます。昨年度約50%だった「思う」の回答が、今年度は約70%に達しました。一方、「思わない」の回答も低学年の保護者の一部にありました。低学年の子どもたちが、不安な思いをせずにスキーを楽しめるように、技能レベルに合わせた指導内容を調整するとともに、楽しんでいる声や姿を学年通信等で保護者にお伝えし、安心していただけるようにします。

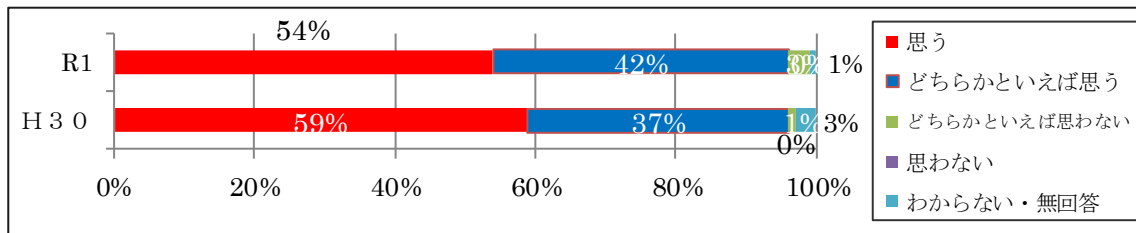
学校評価アンケート【保護者 129 名／140 名中】

- ① 学校は、教育方針や学級の様子等をおたよりや懇談会等で知らせたり、家庭と連絡をきめ細かく行ったりしていますか。

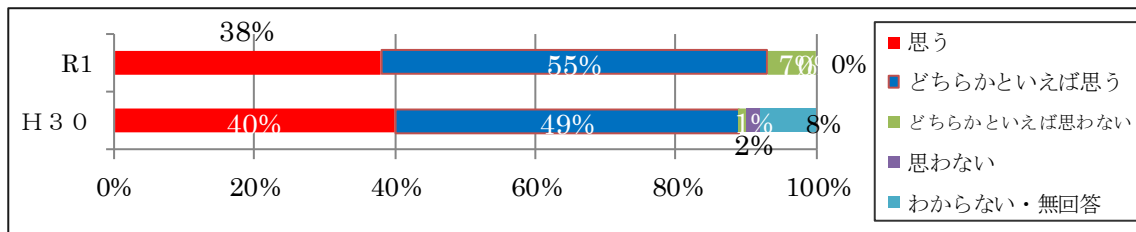


「思う」の回答は昨年度より6%増えましたが、「どちらかといえば思わない」と「わからない」が12%ありました。来年度はさらに家庭とのつながりを密にしていくために、PTA 総会や学園だよりで学校の教育方針をお伝えしたり、校長講話や学校行事の様子などを村の広報を使ってお知らせしたりしていきます。また、お子さんの様子でご家庭へ連絡すべきことはその日のうちにお伝えし、連絡を密にしていきます。

- ② 学校は、授業参観や行事等で、保護者や地域の方々が参加や参観をしやすいような開放的な感じがしますか。

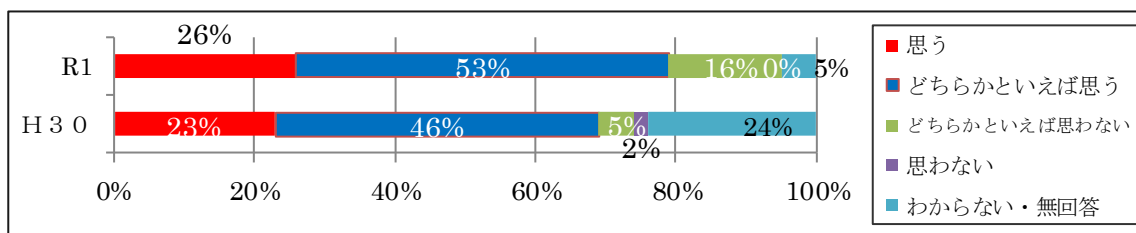


- ③ 学校は、施設設備などの環境整備、登下校や休み中の生活の仕方等で、安全に配慮していますか。



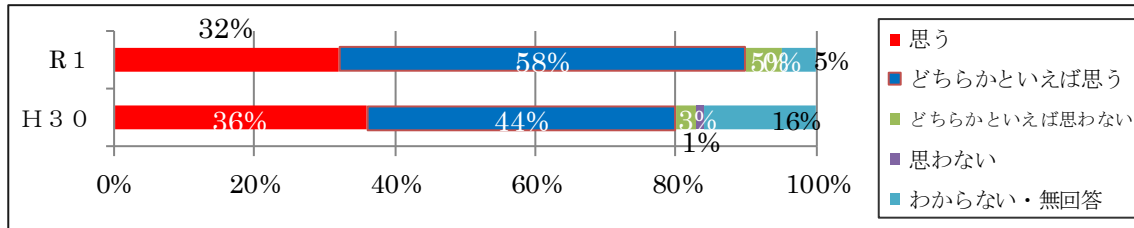
質問②③については、ほぼ昨年度と同様で「思う・どちらかといえば思う」の回答が90%を超えています。参観日や行事、学園の授業公開など、来年度も多くの機会に学校を開放していきます。また、安全面への配慮についても、施設の安全点検や通学路の巡視などに継続して取り組んでいきます。③について「どちらかといえば思わない」の回答が低学年にあったため、朝と帰りの会で登下校時の交通安全への指導に取り組んでいきます。

- ④ 学校は、いじめや不登校等の発生を早期にとらえ対応し、子どもが安心して登校できるように努めていますか。



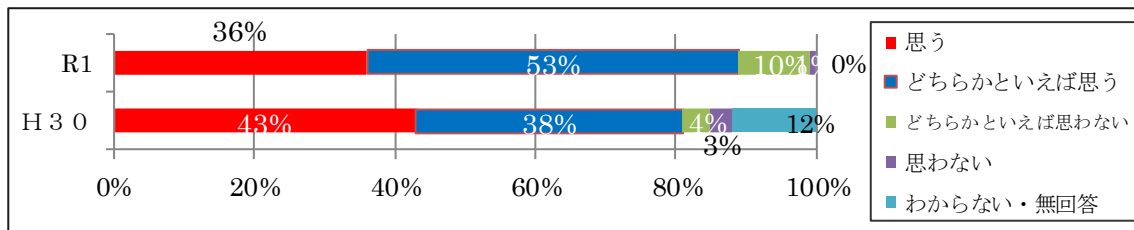
いじめ・不登校への早期対応について、「思い・どちらかといえば思う」の回答が、昨年度の約70%から10%増えて、約80%になりました。今年度は、学校長から職員へ生徒指導のガイドラインが示され、全職員が共通理解のもと取り組んできました。一方で「どちらかといえば思わない・わからない」の回答が20%を超えています。いじめや不登校についての学校の対応について、さらに職員が統一の意識でチームとなって取り組み、改善を図っていけるよう、職員研修を充実させるとともに、保護者との連絡も密にとり、子どもや保護者の思いを理解し、納得していただけるよう対応していきます。

⑤ 学校は、命を大切にする心や人権に関する課題について、学ばせようとしていますか。

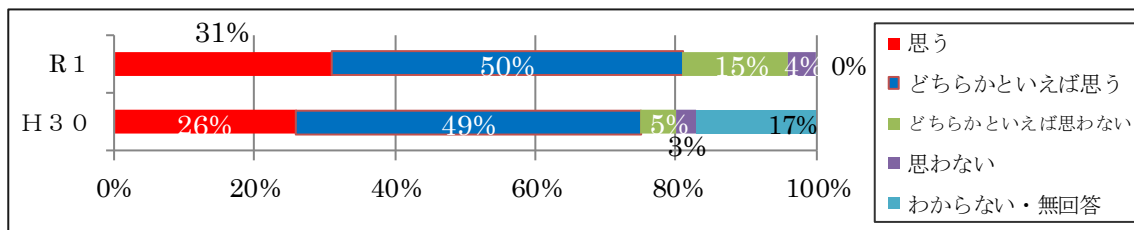


「思う・どちらかといえば思う」の回答が昨年度より10%増え、90%になりました。毎週ある道徳の時間や、11月の「なかよし月間」では、命や人権を大切にする学習に取り組んでいます。一方、質問④と⑤については、記述の中にも「わからない」「学校でどんな取り組みがなされているのか伝わってこない」というご意見が複数ありました。「わからない・無回答」も5%あります。来年度は、道徳や人権教育（同和教育）のカリキュラムを見直すとともに、成果については、子どもの心情の変化や日々の姿が伝わるように、学年通信等で発信していきます。

⑥ 学校職員は、保護者からの相談や要望にきちんと応えていますか。（学級担任以外も含めて）

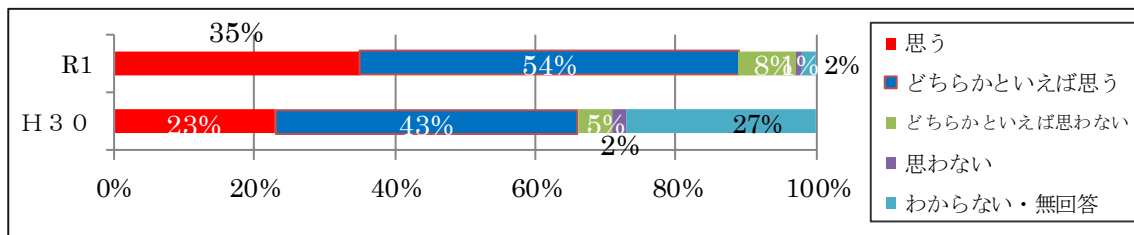


⑦ 学校職員は、お子さんの話を聞いたり、お子さんと遊んだりして、お子さんを理解し、適切な指導、評価をしていますか。



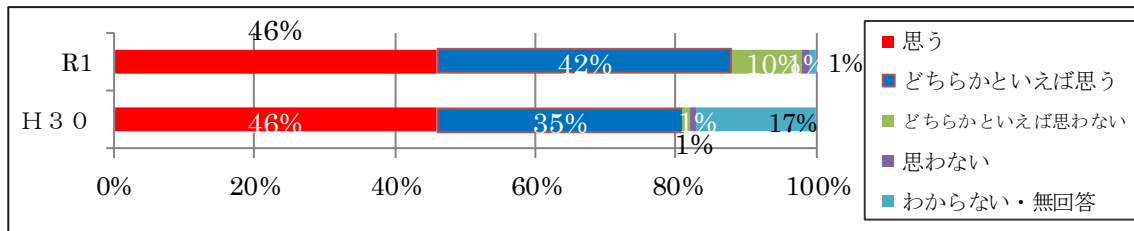
質問⑥⑦ともに、「思う・どちらかといえば思う」の回答は増加しており⑥では90%、⑦では80%でした。保護者や子どもたちとの関係づくりに取り組んでいきます。一方で、「思わない・どちらかといえば思わない」も、⑥では11%、⑦では19%ありました。保護者からの声には、その日のうちに対応し、どんな対応をしたのかを伝えていきます。また、一緒に活動することを通して子どもたちを理解し、適切な指導に努めていきます。

⑧ 学校職員は、わかりやすい授業をしていますか。



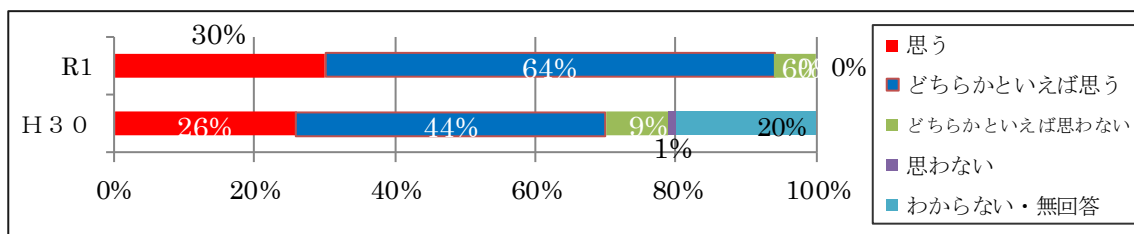
「思う・どちらかといえば思う」の回答が93%と、高い評価を得ています。一方「思わない・どちらかといえば思わない」も約10%あるので、授業については、さらに「わかりやすい授業」また、「わからないことがあったときには『わからない』と言える授業」を目指して、授業改善をしていきます。

⑨ お子さんは、学校へ行くのを楽しみにしていますか。



「思う・どちらかといえば思う」が88%で、昨年度よりも7%増加しました。一方、昨年度1%だった「どちらかといえば思わない」が10%に増加しています。日々の子どもの表情やつぶやきなどに、職員全員でさらに気を付けていくことや、保護者からの情報を密に得ること、スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカー、村相談員とも連携していくことで、悩みがあったり、学校生活に居づらさを感じたりしている子どもへの対応をしていく。また、授業が楽しければ、学校は楽しくなるので、質問⑧への対応のように、授業改善にも取り組んでいきます。

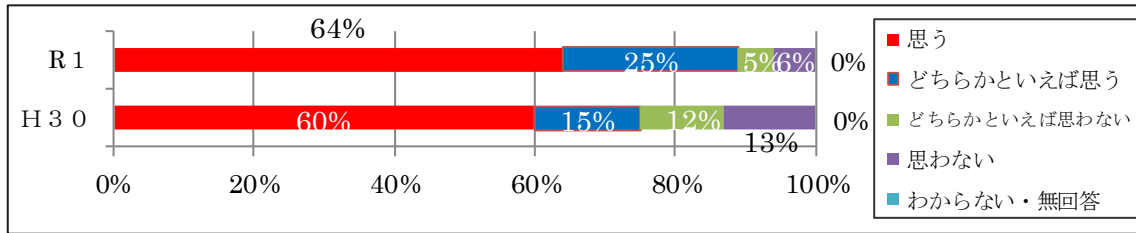
⑩ 野沢温泉小学校の子ども達は、場に応じたマナーやあいさつができますか。



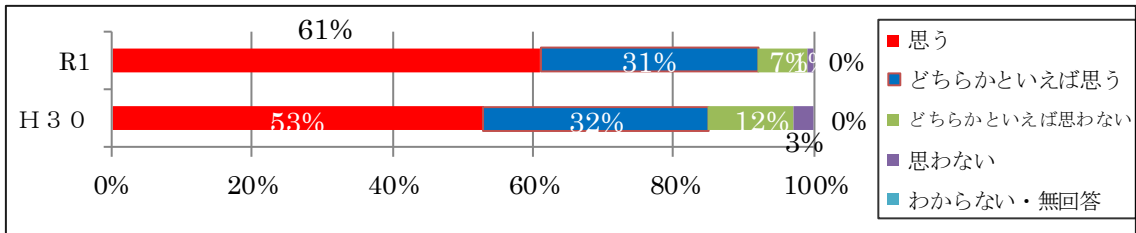
「思う・どちらかといえば思う」の回答が94%でした。あいさつや、場に応じたマナーについては、高い評価を得ています。来年度も引き続き、あいさつなどを励行していきます。

学園評価アンケート【児童 129 名／140 名中】

①【ふるさと学習】 村のことを調べたり、村の人に教えてもらったり、村に出かけたりして、野沢温泉村のいいところがよくわかった。

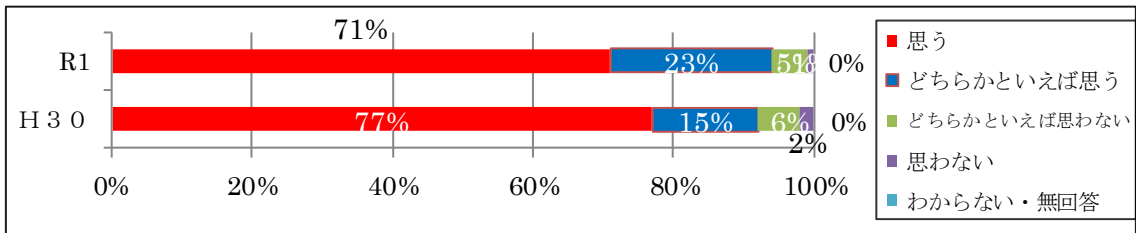


②【英語学習】外国の人や村の人、友だちや先生などと、英語を使ったやり取りを楽しむことができた。



「ふるさと学習」「英語学習」ともに、「思う・どちらかといえば思う」が昨年度よりも増加し、90%を超えています。来年度も、保護者アンケートの①、② (p1)のように取り組んでいきます。

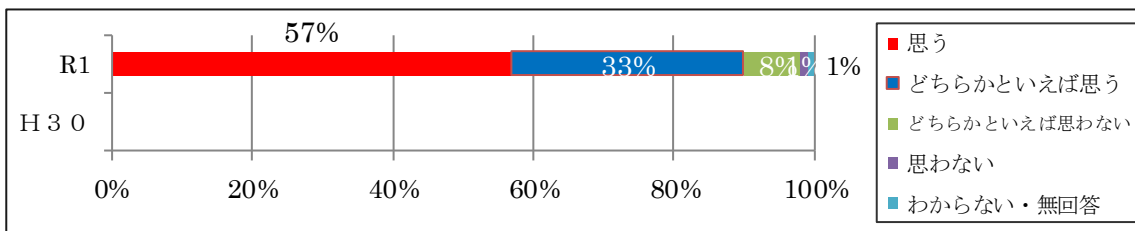
③【スキー学習】スキーを楽しみながら、スキーも上手になってきている。



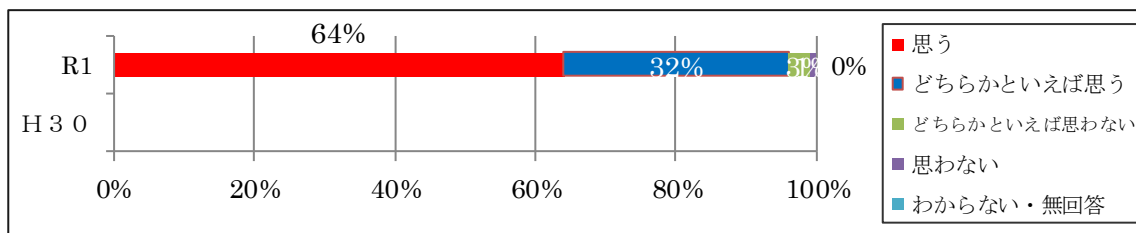
「思う」は昨年度より6%減りましたが、「どちらかといえば思う」を加えると94%がスキーを楽しみながら技能も高めていこうとする子どもたちです。一部にスキーに対して苦手意識のある児童もいることは忘れずに、保護者アンケート③ (p3)のように対応をしていきます。

学校評価アンケート【児童 129 名／140 名中】

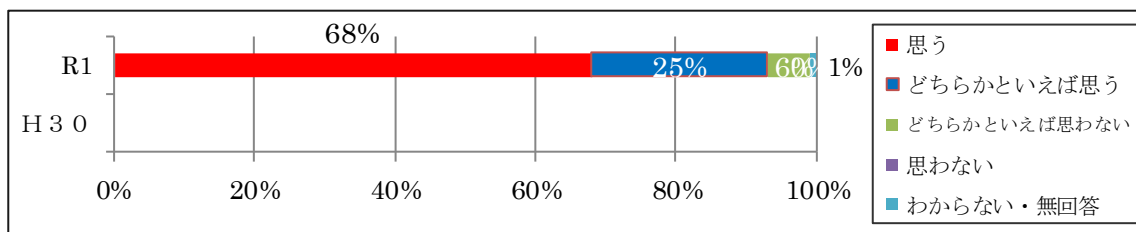
⑪ お家の人は、学校からのおたよりなどで、学校の行事や学級の活動の様子をよく知っている。



⑫ 授業参観や行事などには、お家の人や村の人がたくさん来てくれている。

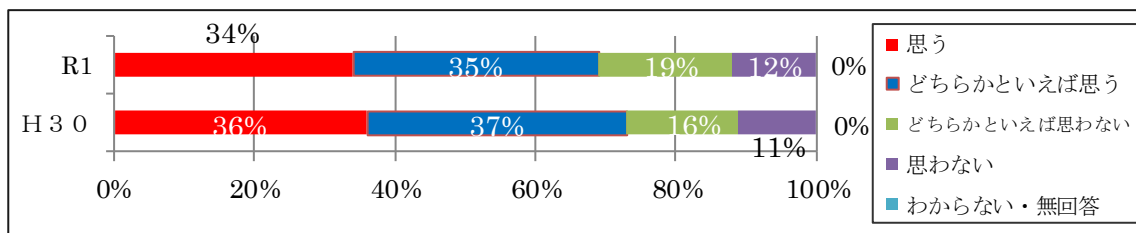


⑬ 学校の建物や用具などに危険なところは無く、また登下校や休み中の生活でも安全に気を付けている。



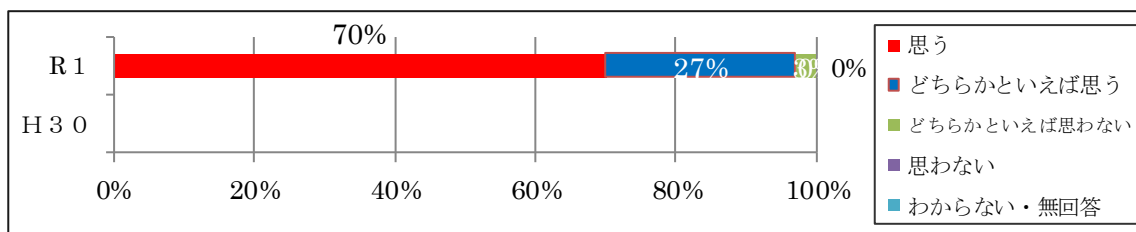
①②③は、昨年度は、児童用アンケートにはなかった項目です。保護者と比較してみると、3つとも「思う・どちらかといえば思う」の割合が大きくなっています。③については、さらに子どもたちの安全への意識を高めるため、保護者アンケートの③ (p2) のように対応していきます。

⑭ いじめがあったり、学校に行きたくなかったり、その他のことで悩みなどがあつたりするときは、学校の先生（担任先生以外の先生も含む）に相談できる。



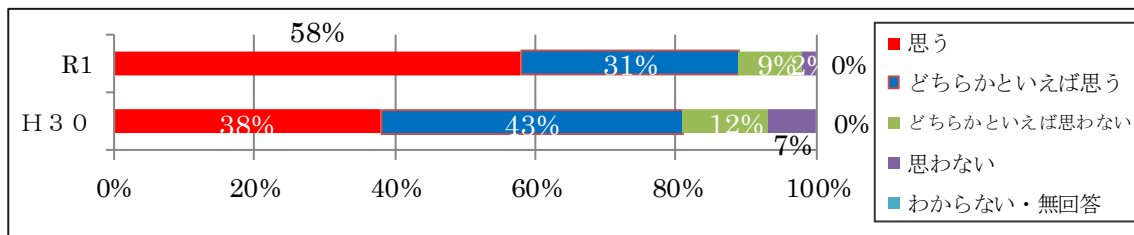
昨年度から引き続き、課題のある結果となりました。「どちらかといえば思わない・思わない」の回答が31%となり、昨年度の27%より4%増加しました。約3人に1人の児童は、何か困ったことがあつた時に、学校職員には相談しにくいと感じています。「相談週間」のような「1対1で話す時間」を積極的に活用したり、教科担任や副担などいろいろな先生に相談できる機会を作ったりしてし、子どもからの声には真摯な対応をして「先生に相談しよう」と思えるような関係性を築いていきます。また、授業中の発言を大切に扱ったり、わからなさを感じている児童を中心に授業を展開したりするなど、授業改善にも取り組んでいきます。

⑮ 道徳などで、命の大切さや、みんなで仲良くすることの大切さなどについて学んでいる。



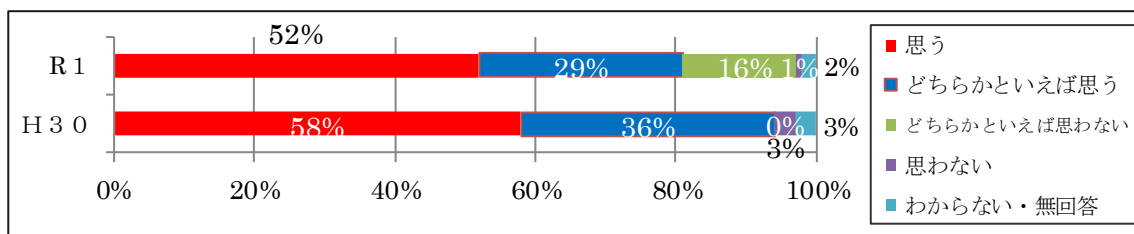
道徳の授業は、毎週あるので、「思う・どちらかといえば思う」回答が多いです。道徳で学んだことが、児童の生き方にどう反映されているか、また、人権の授業や、同和教育に関する授業などは十分であったか、検討し、カリキュラムを作成し、年度内に公表していきます。

⑩ 授業はわかりやすい。もしわからないところがあっても、質問すれば先生や友だちが教えてくれる。



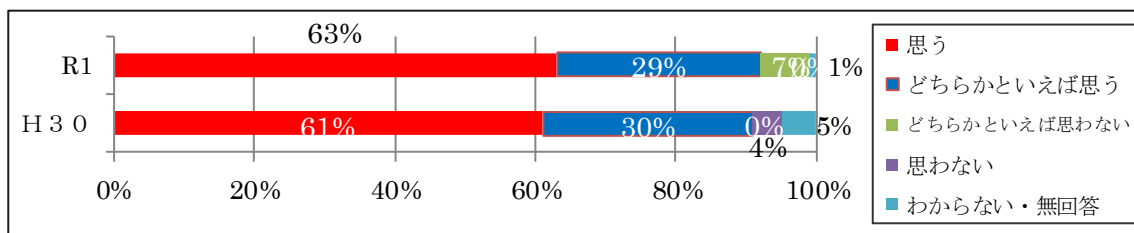
昨年度よりも「思う・どちらかといえば思う」の回答が増え、約90%に達しています。「わからない」時に子ども同士で教え合ったり、グループで考え合ったりする場面が授業の中でも増えてきていると考えられます。来年度は、少人数学習に加え、教科担任制も導入し、教師が一方的に教えこむ授業から、子どもが前に出る授業、子ども同士が関わりあいながら学び進める授業にさらに取り組んでいきます。

⑪ 学校へ行くのが楽しい。



昨年度と比較すると「どちらかといえば思わない」の児童が増加し、16%います。相談週間などを活用したり、保護者アンケート⑨ (p4) のように対応したりし、子どものねがいや悩みにさらに寄り添っていきます。

⑫ 友だちや先生、村の人などに、あいさつをきちんとしている。



あいさつを大切にしている意識がうかがえます。「気持ちよく」「自分から」などさらに質を高めていきます。

学園ならびに学校評価アンケートへのご協力、ありがとうございました。今回公表させていただいた結果と、いただいたご意見等につきましては、学校として真摯に受けとめ、考察の中で述べさせていただいた来年度の取り組みに生かして参りたいと存じます。

今後も、ご理解とご支援のほど、よろしく申し上げます。